



千八百七十八年三月十六日附
「ヂヤツパン、タ井ムス」新聞抄譯

條約改正ノ説附墨西哥「ドルラ」事



3931



414
A 933



七十一年三月十六日附ゲヤツパン、タサムス新聞紙

大正十一年四月
大隈侯爵郵贈

堀口昇譯

條約改正ノ説附墨西哥ドルラノ事

奇ナル哉妙ナル哉日本国ノ我輩ト同業ナル中外物價新報記者
ノ言語ヲ弄スルノ巧ミナルヲ即チ墨西哥ドルラヲ巧奪シテ
曰ク墨西哥ドルラハ日本貿易ノ贅肉ナリト
始メテ日本国カ墨西哥ドルラヲ採用シタル過失ハ猶ホ忍ス
ヘキナリ然レモ最始数年ノ間ニテ使用シテ其可否ヲ試ミタル
後チ猶ホ之ヲ計算ノ貨幣及ヒ貿易ノ媒介トシテ執行シタルノ
過失ハ既ニ怨スヘカラサルナリ然ルニ今日日本政府ハ巨額ノ費
用ヲ以テ造幣寮ヲ設立シ墨西哥ドルラヨリモ一層善贖ニシ
テ且信任スヘキ貨幣ヲ發行シタル後チ尚ホ之ヲ続々輸入シタ
ルハ其過害ヲシテ益々重大ナラシメタルモノト言ハサルヲ得
ズ

大正十一年四月

此ノ如キ言語ハ我々看客諸君カ我カ新聞紙上ニ於テ曾テ慣読
シタル言語ヨリモ甚タ過劇ナリ然レモ我輩カ此ノ如キ激昂ノ
言語ヲ吐露スル所以ハ抑モ為ニスル所アリテ然ルナリ
何如ントナレハ我輩ハ堅固ニシテ且ツ信憑ヲ置クニ堪ヘタル
貿易ノ媒介ハ商業繁栄ノ為メニ至緊至要ノモノタルヲ驅逐
ニ深ク蓄藏スルヲ以テ凡ソ條約ノ改正ニ於テ通貨ニ係ハル條
款ノ改正ハ海關稅法中ノ自他ノ條款ノ改正ニ先ツテ着手セラ
レズンハアル可ラサルト思惟シ又此ノ如クスレハ顧フニ日
本政府カ將ニ為ントスル要求ヲ扶助スヘシ即チ後來墨西哥
ルラルハ日本各地ノ開港場ニ輸入スルモ只ニ地金トシテ賣買
スヘキ事又外國政府ハ後來日本ノ貿易ニ於テ用ユヘキ貿易ノ
媒介タルヘキ貨幣ハ更ニ日本政府ニ於テ鑄造スヘキ間然スヘ
カラサル主權ニ至當ノ尊敬ヲ尽クスヘキ事ト改條正約セン

ノ要求ヲ大ニ扶助スル所アルヘシト考察スルヲ以テナリ大體
列願ト日本政府ノ間ニ千八百五十八年八月ニ結了シタル條約
ノ第十條ニ曰ク
總テ外國貨幣ハ日本國內ニ通用スヘシ而シテ外國貨幣ハ同
種類ノ日本貨幣ノ量目ニ當レル價格ヲ以テ通用スヘキ事ト
記者曰ク同種類トハ固ヨリ銀貨ト銀貨金貨ト金貨ノヲ云
フナリ
又同條ニ曰ク
日本政府ハ若干ノ年月ヲ經過セカレハ外國貨幣ノ價格ヲ諒
知スルヲ能ハサルヘキヲ以テ各港ヲ開設スルノ後チ一々年
ノ間日本政府ハ英國貨幣ト交換ニ於テ日本貨幣ヲ英國臣民
ニ給スルハ改造ノ費用ヲ拂フニ及ハス直チニ量目ト量目
トヲ以テ交換スヘキ事ト

我輩ハ該條約ヲ品評シテ曰ク是レ條約ヲ結了シタルモノ、過
失ナリト雖モ猶ホ怨スヘキモノナリト
抑モ該條約ヲ結了シタル者等カ其攻取ヲ免レ、所以ハ即チ左
ニ掲載セル如キ実事ノ存スルニ因レリ抑モ彼等ハ自ラ金屬ヲ
分拆スルノ術ニ巧ナルニ非ラス又仮令彼等ハ此事ニ巧妙ナル
者ノ扶助ヲ受クルノ緊要ナルヲ察知シタリト雖モ條約ヲ結
了スルノ至急ニシテ且切迫ナル事情ノ為メニ其示教ヲ受タル
ノ餘暇ナカリシナリ又彼等ノ協議ニ參會スルヲ得タル商賈
等ハ固ヨリ只ニ支那回貿易ニシテ慣熟シテ其他ヲ知ラサル者
ナルカ故ニ同一ナル國産及ヒ製作物ヲ取扱フ日本國ノ貿易モ
亦タ支那回貿易ト同轍ヲ踏ミ行クヘシト前見シタリ且其商賈
及ヒ日本政府ノ諸大臣等ハ墨西哥ドラルハ支那國ニ於テ流
通スルヨリモ一層ノ便益ヲ以テ日本國內ニ於テ通用スヘシト

前見シタリ

然レ氏二十年間ノ損失多キ經驗ニ由テ其觀察ノ誤謬タルハ自
ラ顯明ニ至レリ夫レ日本人ハ總テノ事理ヲ解スルニ於テ支那
人ニ比スレハ稍ニ早歎ミ込ミナル故ニ通貨ノ問題ヲ會得スル
ニ於テモ亦タ遙カニ支那人ノ頭上ヲ飛越シテ達了シタルモノ
ト云フベシ如何ントナレハ仮令墨西哥ドラルハ數年ノ間日
本人民ニ熟知セラレタリト雖モ日本人ハ更ニ之ヲ好マス且
今之ヲ通用スルハ博識多聞ノ名聲アル日本理財家等ノ支吾ス
ル所ニシテ現今ニ於テハ只ニ奸高等カ日本貨幣ニ於テ相場ヲ
為シ不正ノ利益ヲ博スル一器械ニ変性シ終ニ公然日本貿易ノ
贅肉ナリト沾辱セラル、モ甚タ至當ニシテ敢テ問然スルヲ能
ハサルニ及ヒタレハナリ故ニ緊要ナル改革ノ一舉為トシテ墨
西哥ドラルヲ日本開港場ヨリ除去スルノ時既ニ至リト云フ

ヘシ

我輩新聞記者ハ日本帝國ニ於テ追々發行シタル日本分銀ト墨西哥ドルラルトノ分拆比較昏ヲ十有餘年前ニ合衆國造幣寮ヨリ得タリ

而シテ此分拆比較昏ノ報告スル所ニ依レハ所謂新分銀ハ精密ニ墨西哥ドルラルト同様ニシテ純量八百九十八ナルニ(純量八百九十八トハ千分ニ於テ純銀八百九十八分ヲ含ムヲ云フ其他皆是ニ徴ヘ)千八百五十八年及ニ其後テ上六年ノ間ニ發行セラレシ旧分銀ハ九百八十八ノ純量ヲ含メリト云フ

此ニ由テ之ヲ見レハ條約ノ第十條ヲ履行シテ日本政府カ外國ノ純量八百九十八ナル墨西哥ドルラルトニ換ヘテ字内ニ於テ最モ純粹ノ貨幣タル純量九百八十八ノ日本貨幣ヲ以テ外國人ニ與ヘル間ハ即チ日本政府ニ於テ交換ノ都度外國人等ニ九分

ノ利益ヲ贈遺ト為シ之ニ加フルニ改造ノ費用ヲ自任シタルナリ

此ノ如キ利益多キ交換ニ從事スルヲ避ルハ商賈ノ人情トシテ堪ユルヲ能ハサル所ナリ故ニ千八百五十八年九月ヨリ千八百五十八年九月ヨリ千八百五十九年十一月ニ至ルマテ僅カニ數月ノ間ニ貨幣交換契約ノ日本政府ニ對シテ取結ハル、モノ日々ニ多數ニ至リ遂ニ或ル商賈ハ一、二〇〇、六六六、七七七、八八八、九九九、二二二、三三三、四四四、五五五、六六六、七七七、八八八、九九九ニ出願シタル如キ痼疾ノ景況ニ至レリ固ヨリ其出願ハ已ト其友人ト偽稱スルヨウマン「オールドマン」スチツク「ウナ」ルカル「ホナキツト」スヌ「トク」チヤケツ「チ」等ノ如キ抱腹スヘキ名前ヲ負ヒタル貴人ノ為メニナサレタルナリ
然レモ固ヨリ此ノ如キ出願ノ許可ナカリシ「ハ」蓋シ我輩ノ言

ヲ俟タスシテ知ルヘシ
外國貨幣ト日本貨幣トハ其本位ニ於テ大差アルヲ見シタ
ル時ニ既ニ日本政府ハ日本造幣寮ヲ設立シ然ラ外國貨幣ハ此
造幣寮ニ於テ改造シテ後ニ通用スヘキト取り極メ此時已ニ
墨西哥ドルヲ驅逐シ日本貨幣濫出ノ弊ヲ匡療スヘキ策略
ヲ施スヘキナリキ
然レモ日本政府ハ未タ此ノ如キ得策ヲ行フノ豫備尽ク具ハラズ
且ツ外國人等モ亦タ日本政府ノ此舉ヲ助クルヲ欲セザリシヲ
以テ遂ニ彼ラニ好機會ヲ失セリ而シテ日本分銀ト墨西哥ドル
ラレノ交換ハ外國政府ノ為ニスルノ外此時已ニ差止メラレ
タルヲ以テ墨西哥ドルヲ獨リ其價位ヲ据ヘ可ク居遠トナ
サレタリ而シテ以前ノ貨幣ト異ナリタル新分銀ニ對シテ著ル
シキ割引キヲ以テ其價位ヲ据ヘタリキ

所謂新分銀ハ前ニ合衆國造幣寮ノ分拆昏ニ依テ掲載シタル如
ク八百九十八ノ純量ヲ含メルモノニシテ即チ左ノ事件ノ結果
ナリ即チ我カ英國ノ公使カ外國貨幣及ヒ日本貨幣ハ各幾千ノ
銀量ト雜金量ヲ含ムヤ其割合ヲ諒知セサルヨリ外國貨幣ト日
本貨幣ヲ交換スルニ於テ知ラス識ラヌ九分ノ利益ヲ貪リタル
トテ日本政府ニ指教シ且墨西哥ドルヲ同一ノ本位ニ雜金
ヲ加ヘ日本分銀ヲ引キ下ケントテ日本政府ニ忠告シタル結果
ナリ
則チ日本政府ハ英國公使ノ忠告スル所ヲ奉行シタルニ由テ勿
論直チニ日本貨幣ノ濫出ハ輟ミタリ
然リ而シテ當時我輩新聞記者ハ我カ社説及ヒ各翰及ヒ違白昏
ボニ於テ此好機會ニ乘シテ日本政府ハ至尙ノ保証ヲ以テ日本
國造幣寮ヲ設立シ墨西哥ドルヲ地金トスルノ外日本人

ノ金庫及ヒ帳簿上ヨリ追放セシメテ主張セリ
然ルニ日本政府ハ此言ヲ用ヒズシテ伎ヲニ好機會ヲ過ゴシタ
ルヲ以テ猶ホ十二年ノ間其僅少ナル貯蓄貨幣ニ於テ避ケン
ト欲セハ避クルヲ得ヘク已マント欲セハ止ムヲ得ヘキ無
益ノ吸飲ヲ蒙リタリ

此罰ヤ実ニ日本政府ニ對シテ至當ニシテ決シテ無辜ニ冤罪ト
云フ可カラサルナリ何トナレハ第一日本政府ハ貨幣ニ御世話
ヲヤクテ頑固ニシテ且ツ衆人ヲ欺クヘキ心意ヲ以テ之ヲ為シ
第二直実多識ノ理財家ノ教示ヲ用ヒスシテ理財家ヲ偽似ズル
不直不実ノ生識者ノ言ヲ採用シタレハナリ

日本政府ハ旧分銀ヲ墨西哥ドルル本位ニ雜金ヲ加ヘテ引
キ下ケタルノ後テ尚ホ一層其貨幣ノ純量ヲ減スルキハ千八百
五十八年ヨリ千八百六十五年マテノ間ニ其蒙リタル九分ノ損

失ヲ自ラ償フヲ得ヘシト至極御尤ナル想像ヲ起シテ其貨幣
ノ純量ヲ減殺セリ

然レモ日本政府ハ其想像ノ如ク貨幣ノ溢出ヲ過メ且ツ其九分
ノ損失ヲ償フヲ能ハス金貨ノ吸飲未ダ過マサルカ為メニ猶ホ
巨大ノ損失ヲ蒙リタリ

何トナレハ價位ノ下リタル分銀ヲ追々發行スルニ隨ヒ外國ノ
為替節ハ其價位ノ下リタル新分銀ヲ以テ旧分銀ヲ購求シ直チ
ニ之ヲ溶解セシメテ以テ事遂ニ甚タレキニ至レリ

則チ新旧徳川分銀ハ奇物ヲ玩弄スル者カ其時計ノ鎖ヲ飾ラン
カ為メニ高金ヲ以テ購求スルカ如キ奇物トナリ其地位ハ二分
判ト称呼サレタル小形ナル貨幣ヲ以テ代理サレタリキ而シテ
其二分判ハ公然六十四セントニ價スト至モ其実僅クニ二十セ
ントノ價格モ有セサル金減金ノ銀貨ナリキ

此ノ如クニシテ至屬ノ貨幣ハ容易ク紙幣ニ変性セリ
然レモ明治ノ維新ト共ニ日本國ノ為メニ再々一好機會ヲ生シ
来レリ
即チ勢力アリテ且友義ニ厚キ英國公使ハ膽略アリテ且穎才ナ
ル西替師ト具ニ日本政府ノ為メニ其信任ヲ挽回シ資本ヲ以テ
之ニ具備センコトヲ尽カセリ
オトリエシタル銀行ハ即チ日本政府ノ為メニ香港造幣寮ノ買
取リヲ高議セシニ香港政府ハ痴呆ニシテ有無ナク之ヲ販賣
セリ是ニ於テオリエシタル銀行ハ日本政府ヲ助ケテ之ヲ大
坂ニ建築シ其事業ヲ起サンカ為メニ外國ヨリ老成ニシテ信任
ニ堪ヘ事ニ巧妙ナル練達者ノ一隊ヲ誘引シ来リテ其事業ニ着
手セリ
此ノ如キ保証アルヲ以テ支那國各地方ノ長官及ニ中央政府ノ

官吏ヲシテ新日本ドルヲ支那貿易ノ中心タル各所ニ於テ
合法貨幣トシテ通用スヘキコトノ命令ヲ發行セシムルハ敢テ難
事ニ非カリシナリ
此時ニ當テヤ万事皆日本國ノ為メニ祥徴ヲ顯ハシ後來ニ至レ
ハ墨西哥ドルヲタル貿易上ノ王位ノ篡奪者ヲ其王位ヨリ排
擠シ日本國貨幣ヲ以テ其他位ニ昇登セシムヘキ幸ナル前途ノ
徵候ハ日本國ノ面前ニ整列セリ
其日本造幣寮ハ真ノ造幣器械トナリ東方貿易ニ用ユヘキ通貨
ヲ全然供給スヘク仮令現今未タ爰ニ至ラスト至モ追々時節ヲ
經過スルニ隨テ外國ノ熟練及ニ信任ノ扶助ヲ得テ必ラス此ノ
如キ狀勢ニ至ルヘク又日本政府カ諸般ノ事務ニ於テ至當ノ經
濟ヲ行ヒ万事ニ注意スレハ追々外國ニ輸出サレタル金銀貨幣
ヲ日本國內ニ回復シ日本政府カ己ムヲ得ズレテ依頼レタル紙

幣発行ノ根據トシテ實ニ日本國ニ欠クヘカラサル金銀貨幣ニ
不自由ナキニ至ルヘキ状態ナリキ
然レモ其好機會ハ再ヒ安ニ失ハレタリ
所謂日本人民ノ性質ニ於テノ瑕瑾タル狐疑ノ念慮及ヒ志操ノ
不確及ヒ新奇ノ羨慕及ヒ自負ノ思想ハ日本國ニ於テ既ニ為シ
遂ケ得タル總テノ善事ヲ其仲間ニ入ツテ之ヲ滅尽セリ
最悪ノ理財學校ニ於テ教授ヲ受ケ生マ中ニ理財ノ事ヲ聞キ觀
リタル狡猾ナル亞米利加理財家及ヒ昇進ヲ仰慕スル所ノ日本
國ノ理財家ハ銀貨ヲ以テ貿易ノ媒介トシテ採用スルニ適當ノ
場所タル日本國ニ於テ徒ラニ金貨ノ使用ヲ試ミル可ク日本政
府ヲ説得スルヲ得タリ
英國ノ西曆師及ヒ造幣寮ノ官負等カ遮ツテ之ニ抗論シタリト
雖モ日本政府ニ於テハ更ニ其言ヲ納レス大坂造幣寮ヨリ實ニ

鑄造ノ術ニ練達シタル造幣者ノ名作トモ言ツテキ頗ル美麗ノ
金貨幣ヲ数百万圓發行シタリト雖モ日本貿易ハ常ニ銀貨ヲ以
テ貿易ノ媒介トシテ慣用シタルヲ以テ其金貨ハ更ニ貿易上ニ
流通セス
外國人ハ新鮮ニシテ極印鏡ク光輝澤々然トシテ未タ使用ノ為
メニ汚穢ヲ蒙ムラサル金貨幣ヲ皆低價ノ銀貨ヲ以テ購求シ之
ヲ外國ニ輸出シ遂ニ溢解セリ故ニ痴愚且不幸ノ日本政府ハ特
ニ金貨鑄造ノ費用ヲ負荷セシノミニシテ毫モ得ル一町ナカリ
キ
然レモ亞米利加國ノ助言者ハ已等ノ思考ノ如ク其目的ヲ達セ
リト言フヘシ
即チ日本國ノ銀貨貨幣ハ鑄造較ニ且支那國ニ於テ是迄流通シ
タル其通用モ亦タ障碍ヲ生シタルニ由リテ亞米利加人ハ其質

易ドルラルヲ東方ニ引導スヘキ充分ノ餘地ヲ得タリ
然レハ亜米利加貿易ドルラルノ鑄造者カ己ノ欺キタル日本國
ノ鑄造者ニ比スレハ貨幣ノ事項ニ係ハリ多識ヲ有セザリシハ
實ニ日本造幣寮ノ前途ノ為メニ宜シク賀ス可キ所ナリ
抑モ彼ノ亜米利加人等ハ名稱同一ナリト雖モ真ノ價格ニ於テ
ハ遙カニ優勝ナル一貨幣ヲ以テ自他ノ貨幣ヲ排擠センヲ試
ミルカ如キ根本ノ誤認ヲ為セリ
故ニ亜米利加人等ハ排擠セント欲シタル墨西哥ドルヲ排
擠セスシテ却テ遺留センヲ欲シタル性質少シク善良ニシテ
且四ダレエンシ重量ナル愛スヘキ一貨幣タル亜米利加貿易ドル
ラレヲ排擠セリ
此ニ於テ其己ムヘカラサル結果ヲ發生シ來レリ
最初支那國ノ西替師ハ歩合ヲ出シテ亜米利加新ドルラレヲ買

コ入レタリ是レ其ドルラレノ輸入者カ兼テ期スル所ニシテ即
チ其輸入者ハ輸シタルドルラレカ墨西哥ドルラレヨリ其性質
ノ優勝タルヲ自カラ主張スルヲ得テ獨リ世上ニ流通スル
ノ期ヲ待ツヘク悠然トシテ待テ構ヘタリ然レハ支那國西替師
ハ其後チ其ドルラレハ墨西哥ドルラレニ比スレハ銀ノ四ダレ
エンノ過分ヲ含蓄スルヲ以テ其利ヲ得シカ為メニ之ヲ無慈悲
ニ逐次溶解セリ而シテ彼等ハ尚ホ其巨多ヲ輸入センヲ要ホ
セリ
此ノ如クニシテ亜米利加新ドルラレニ其優勝ヲ主張スヘキ時
ト機會トナ共フルニ違ナカリキ
是ニ於テ再ヒ日本政府ハ亜米利加政府ノ噸ニ倣ヒテ其損失ヲ
蒙レリ
即チ是時ニ當テ日本政府ハ量目四百二十ダレエンニシテ純量

九百ナル日本貿易ドルヲ發行セリ然レ此ドルハ量
目四百十六ダレエンニシテ紙量僅クニ八百九十八タル墨西哥
ドルラカ前週期ニ於テ兩替師ノ肆頭ニ於テ日本紙幣ノ一円
十銭ニ價ヘセシニ只、僅クニ壹円〇二銭ノ價格ヲ有セリ嗚
呼
我輩ハ今全二十年間ノ損失多キ失敗ノ為ニ日本國ニ起リタ
ル結果ノ概略ヲ陳セン
抑モ貨幣鑄造ノ費用タル紙幣ノ損失ノ如キハ我輩ク計畫ニ入
レサル所ニシテ我輩ノ算入スル所ノモノハ皆ナ之ヲ結果トナ
ス
日本國ニ於テ數回發行シタル紙幣ヲ一物ト見做スモ尙ホ商業
ヲ錯乱シ射利ノ好機會ヲ生シタル六種ノ價格均一ナラスレテ
互ヒニ競爭スル貿易ノ媒ハ有セリ即チ金田銀田日本貿易ドル

ルラル亜米利加貿易ドル及ヒ墨西哥ドルラ是ナリ總テ
金屬貨幣中ニ於テ其實質最モ不良ナル墨西哥ドルラハ今自
他ノ貨幣ノ上席ヲ占メ專ラ狡猾ナル支那人ノ手中ニ掌握セラ
レタリ故ニ其支那人等ハ二十年前ハ月ニ僅クニ八ドルラカ
或ハ十ドルラノ給料ヲ得タル商家ノ手代或ハ役所ノ小使タ
リシモ今日ハ海獺或ハ黑貂ノ裘衣ヲ裝ヒ馬車ニ鞭チ其領事ノ
館ニ出入シ支那錢鎊救恤資金ノ為ニ數千ドルラノ錄金ヲ
投與スルカ如キ景況ニ至レリ
日本貿易ノ汗タル或ハ疥癬タル墨西哥ドルラ何時マテ永
ク堪任センヤ
我輩ノ友人タル中外物價新報記者カ墨西哥ドルラヲ稱呼シ
テ日本貿易ノ贅肉ナリトスルハ實ニ正ナナル哉
我輩記者ハ中外物價新報記者ノ叫呼ニ應シテ之ヲ棄テヨ之ヲ

掃去セヨ何ツ之ヲ地上ニ置カシヤト言ハントス
幸ニ其治療ヲ求メハ豈ニ夫レ遠カラシヤ

